

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2004年10月5日

2004年10月3日現在：

2005年産冬小麦の播種は8月22日に終わる週に開始された。8月22日現在で1%の圃場にて播種が終了していた。昨年より多少遅れていたが、5年平均並みのスタートであった。8月の終わりに掛けワシントン東部の乾燥地帯からアイダホ州境のPalouse地方に降雨があった為、播種作業は遅れを出した。降雨により夏季休耕地の土壌水分は大幅に改善された。9月中旬まで湿潤気象が続いた。9月26日に終わる週に初めて秋らしい天候が戻り、1週間の州平均農作業稼働日数が6.5日（前週：4.5日）となった。一部の圃場では播種した種子が降雨のため流失し再播種が行われた。

10月5日に終わる週では降雨は記録されず、平均気温は平年を5～8度上回り海拔の高い丘陵地帯での播種も急速に進んだ。Whitman郡でも播種は最終段階となった。温暖な気温は歓迎された。出芽に最適な気温と土壌水分なり、出芽した小麦の状況は良好と報告された。

土壌水分及び灌漑用水：10月3日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	4	29	67	0
5-Year Ave (%)	22	44	33	1
Subsoil (%)	2	32	66	0
5-Year Ave (%)	14	49	37	0
Irrigation Water (%)	0	5	95	0

小麦生育状況：10月3日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Winter wheat Planted (%)	73	55	75	78
Emerged (%)	48	33	39	54

Source : Washington Agricultural Statistics Service, USDA

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>